

カリキュラム

機構施設名： 大分職業能力開発促進センター
 実施機関名： 合同会社瓦林総合研究室

A.バックオフィス	新技術活用	AI(人工知能)活用
-----------	-------	------------

コースのねらい	AI(人工知能)の概要とビジネスの現場におけるAIの具体的な活用場面等について理解し、AI活用に係る知識を習得する。
---------	--

講義内容	「基本項目」	「主な内容」	訓練時間(H)
	■ AI(人工知能)の概要	(1) AI(人工知能)とは AIおよび関連する用語について解説を行い、従来からあるシステムとの違い、AIが得意な処理と不得意な処理、AIの歴史・変遷と第3次AIブームといわれる現在のAIについて概観する。 【グループワーク】 訓練の冒頭で、各受講者様の参加目的の言語化を行って頂き、受講後に目指す状態を具体的にイメージ頂きます。加えてグループワークによる共有・発表を行っていただくことで、他の受講者の目的を知り気づきを促す。 【演習】 身近で使われているAIについて可能な限りあげてもらい、AIにより生活や業務がどのように変わったかディスカッション頂く。また現在実現化されていないケースでAIを活用することで生活や業務がどのように改善する可能性があるか検討頂き、グループで共有・発表頂く。	1.0
		(2) AIの様々な手法と技術 機械学習・ニューラルネットワーク・ディープラーニングなどAIの様々な技術と特徴を説明し、従来からあるシステムとの本質的な違いについて解説する。	0.5
	■ AIの活用事例と今後の展望	(1) AIの具体的な活用事例紹介 様々なAI活用の事例を概観した上で、動画マニュアルによる技能継承の推進、図面比較機能による設計・工事手戻りの撲滅、企画業務ではPEST分析など、様々な課題をAIツールを活用した、現実的に導入できる事例を紹介する。	1.5
		(2) 実務でのAI活用 事例で紹介したツールを中心に、実務でどのように使うのか、デモや動画を交えて解説する。 また、RPA、IoTなど他のDXツールを使う上でどのようにAI活用を行っていくか、活用例を紹介する。 【演習】 紹介したデモや動画をふまえ、自社・自部署でも使えるような事例についてあげてもらおう。	1.5
		(3) 課題抽出からAI導入までのステップ 組織課題を抽出し、AI適用領域の判断および実際の導入までの手順を解説する。また、リスクを最小限にするためのPoCの考え方について解説する。 【演習】 これまでの講義を踏まえ、自社・自部署の課題と、活用できるAIツールを机上で整理していただく。 加えてAIを活用する上で進める上での障壁や課題もあげてもらい、グループ内で共有頂く。	1
		(4) AI導入における留意点 実際のAI活用で失敗しないための留意点を経済的・人的・システムの・セキュリティ面など様々な面から解説する。 【演習】 自組織でAIを導入するにあたってのリスクを洗い出して頂き、グループ内でシェア・発表頂く。	0.5
		合計時間	6.0

カリキュラム作成のポイント
<ul style="list-style-type: none"> ・AIを使って成果の出る事例を紹介し、実業務への適用が身近に感じられるようにします。 ・受講者参加型で、グループ討議や発表を取り入れるようにしています。 ・ChatGPTなど受講者が興味を持つ内容を取り入れ、AIの基礎から本質、実業務への適用までを学べる内容にしています。

訓練に使用する機器等	
●機器・ソフトウェア(受講者用)	●機器・ソフトウェア(講師用・その他)
	・PC(講師用)・OS: Windows11 アプリ MicrosoftOffice2024
●使用するテキスト	●その他
オリジナルテキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・講師用のPC・通信環境は講師が用意致します。 ・自社の課題を整理するワークの時間をとります。

利用事業主に用意をを求める機器等	備考
・プロジェクター、ホワイトボード、マーカー プロジェクタとパソコンを接続するHDMIケーブルをお願いします。	